

国立花山青少年自然の家クマ対策

花山青少年自然の家では、以下のようなクマ対策を行い、安全対策を徹底したうえで活動を提供しています。

対策1：見通しのよい環境づくり

施設職員が定期的に敷地周辺や活動エリアの草刈りを行っています。

クマが潜みやすいヤブや、見通しの悪い場所が少なくなるように管理しています。



対策2：職員による巡回

利用者の野外活動がある日は、活動前（8：35～）に職員が活動エリアを周回し、ロケット花火やスターターピストル（火薬式）を鳴らし、クマを遠ざける取り組みを行っています。



対策3：安全装備の無料貸出

活動内容に応じて、以下の装備を無料でご利用いただけます。

- ・熊鈴
- ・クマスプレー
- ・クマよけブザー
- ・無線機



※必要に応じて、職員が使用方法を説明いたします。

対策4：食べ物の管理徹底

自然の家では、

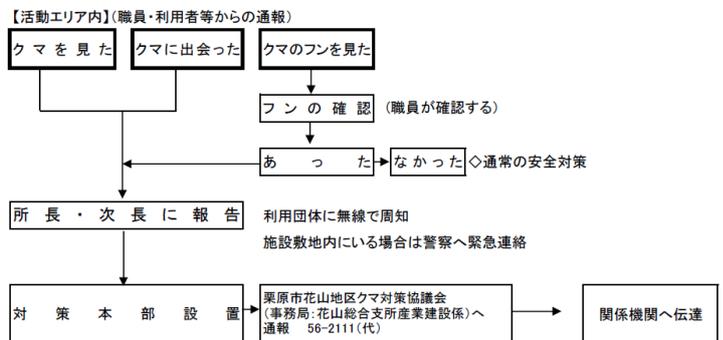
- ・野外炊事後の残飯を確実に片付ける
- ・ごみは業者が回収するまでプレハブで厳重に保管する

といった対策を徹底しています。



熊が人の活動エリアに近づく最大の要因は、「食べ物の匂い」です。

クマ出没時の連絡体制フロー



- ①詳細状況の把握(場所、日時、頭数、大きさなど)
- ②栗原市花山地区クマ対策協議会(事務局:産業建設係)の対応確認
- ③利用者の安全対策
 - ◇入所時打ち合わせ及び代表者打ち合わせ時に情報の提供
 - ◇野外活動実施団体に対して諸注意の徹底(無線機、鈴、ラジオ等の携帯、残飯処理等)
 - ◇クマ追放音声巡回の強化・徹底
- ④機構本部へ一報

クマと出会わないためにできること

1 単独行動を避ける



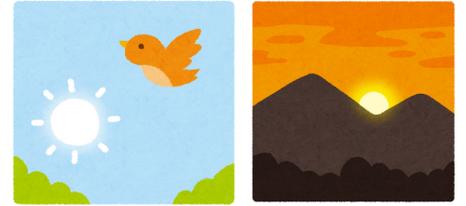
複数人での行動は、熊に人の存在を知らせる効果が高く、遭遇を防ぐ確実な方法のひとつです。

2 熊鈴や話し声で存在を知らせる



クマは急に会って驚いた時に攻撃してきます。鈴やラジオ、大きな話し声で、自分たちの存在をクマに知らせましょう。

3 早朝・夕方の森への立ち入りを控える



早朝と夕方の時間帯はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯の活動は控えるようにしましょう。

4 食べ物やごみの管理を徹底する

熊が人の活動エリアに近づく最大の要因は、「食べ物の匂い」です。



5 熊の痕跡を見つけた場合は近づかない

足跡やフン等を見つけた場合は、早急に自然の家スタッフへお知らせください。



それでもクマと出会ってしまったら...

あわてない！ 背を向けない！



※熊には背を向けて逃げる対象を追いかける習性があります。

遠くにいるクマを見つけたら、あわてず心を落ち着けましょう。クマに背を向けず、向き合ったまま、ゆっくり後ろへさがります。距離が十分開けばクマも落ち着きます。

さわがない！



クマに気づかれても、こちらは騒がず、クマを興奮させないことが大切です。ものを投げたり、叫び続けたり、走り回るなどの行為は絶対にしないでください。

近づかない！



たとえ子グマであっても、決して自ら近づいてはいけません。子グマの近くには母グマがいます。母グマは子を守るために攻撃的行動をとることが多いです。

攻撃されそうになったら、うつ伏せになる！

ただちにうつ伏せになりましょう！

手やザックで、首や頭を守りましょう！



※クマは顔や頭を狙って攻撃してくるので、頭部を腕でカバーし、防御します。